

令和3年度教育委員会表彰式 式辞

(日時) 令和4年1月4日(火) 午前10時45分

(場所) ときわ会館 5階 大ホール

本日の表彰式にあたり、教育委員会を代表し式辞を申し上げます。

今年度は、一昨年度同様、仕事始めの式に引き続き、このようにたくさんの方々と共に、ここ、ときわ会館で教育委員会関係の表彰式を挙行できますことを大変うれしく思っております。

3つの表彰について順に触れたいと思います。

まずは、「教育功労賞」です。「教育功労賞」は、人格・識見共に高く、永年にわたり情熱と使命感をもち、さいたま市及び埼玉県における教育行政や学校教育の振興に尽くされ、極めて顕著な功績を残した方を表彰するものです。本日受賞された10名の方々は、教育を取り巻く環境が大きく変化する中で、教育委員会の幹部や校長として重責を担い、子どもたちの安全で安心な学校生活を守るため、日々大変な御努力と御苦勞を重ね、高い識見に基づく卓越した指導力を発揮し、他の模範となる実践をしてこられました。これまでの献身的な御尽力と御功績に、改めて深く敬意を表します。

次に「優秀教職員表彰」です。この表彰は、教職員及び教職員組織としての資質に優れ、模範的であり、学校教育における教育実践等に顕著な成果を上げている教職員及び教職員組織を表彰するものです。本日表彰された7名の皆様と2つの組織は、学習指導や教育相談、学校給食や学校保健、さらには国際バカロレアやスーパー・サイエンス・ハイスクール等、様々な分野において力を発揮し、さいたま市全体の学校教育の充実・発展に多大な貢献をされました。今後も、優れた教育実践を広く公開し、市全体の教育水準の更なる向上のために、御活躍されることを期待しております。

最後に、「教育委員会職員表彰」です。本市では平成26年度から、他の職員の模範となる職員に対し職員表彰を行っています。先程行われました

市の表彰式においても、教育委員会が推薦した教育財務課・主査の桑原 薫さんが市長から表彰を受けたところです。他にも、教育委員会にはたくさん素晴らしい職員がおり、各部等からそれぞれ推薦をいただいております。そうした職員も教育委員会として表彰しようとしたのが「教育委員会職員表彰」であり、本年度が3回目の表彰となります。本日表彰された皆様は、いずれも、仕事に取り組む姿勢、責任感、行動力、貢献度など、その仕事ぶりを評価されたものです。今後も、自らの仕事に誇りを持ち、更なる向上心を持って、引き続き頑張ってもらいたいと思います。

野球界では、昨年末、大谷翔平選手が、「プロになったら、ピッチャーかバッターのどちらかに専念するのが当然」というこれまでの野球界での認識を覆し、大リーグでホームラン46本、投手としても9勝を挙げ、満票でMVPを獲得するという偉業を成し遂げました。まさに野球界にパラダイムシフトを巻き起こしたと言っても過言ではありません。

教育界でも、「学び」は、様々なフィールドを「越境」して、次のステージへと進化しています。さいたま市教育委員会は、今後も、本市に生きる全ての人々の「学び」のために、行政と学校が一体となって「学びのパラダイムシフト」をもたらす先進的で質の高い教育を提供してまいりたいと考えています。

結びに、本日受賞しました皆様方の御労苦に重ねて敬意と感謝の意を表し、今後の御健康と御多幸を心から祈念申し上げ、式辞といたします。

令和4年1月4日

さいたま市教育委員会教育長

細田 眞由美